

東部事務所が移転!

沼津市岡宮へ 10月28日から業務を開始



平成22年から沼津市西沢田において業務活動を行ってきた(公財)静岡県予防医学協会東部事務所を沼津市岡宮に移転し10月28日から業務を開始しています。

東部事務所は、開設当初から既設のところを借りて業務を行っていましたが、今回は新しく建物を建設したことで、計画段階から参加し作業環境の充実が図られたものになっています。(軽量鉄骨造、延床面積123.93㎡)

旧事務所を会場として実施していた健康診断は、新しい事務所では行わず、交通手段や駐車スペースを考慮し、その時々で集まりやすい公共施設などを借用して実施します。

新しい事務所は主に事務作業が中心となりますが、将来的には健診スタッフが常駐し、そこから健診現場に出発することが可能です。

東名高速道路沼津インターチェンジから車で約3分と、各方面に俊敏な対応が可能になりますので、今後の東部事務所の活躍にご期待ください。



〒410-0011 静岡県沼津市岡宮1210-1
電話 055-921-1934 (変更ありません)
FAX 055-921-1588 (")

第43回学校保健セミナーを開催

当協会と静岡県学校保健会が共催する第43回学校保健セミナーを、平成27年10月28日に、静岡県男女共同参画センター「あざれあ」にて開催した。講師には、静岡県立こども病院循環器科医長である芳本潤先生をお迎えし、県内全域から参加した養護教諭等72名の方々が、「心臓病検診の現状と今後」と題された講演に熱心に耳を傾けた。

講演は、学校心臓検診が現在の学校保健法で実施が義務づけられるまでの流れを説明後、県内における要精密検査となる児童・生徒の割合や、そこから更に要管理と診断される割合とその要因となる疾病名などを、わかりやすく図示して解説された。

また、実際の症例をいくつか取り上げ、具体的にどのような症状を起こすことがあるのか、そのフォローをどうすれば良いのかということも、丁寧に説明された。

学校心臓検診にてリスクのある児童・生徒をスクリーニングすることや、心臓疾患の症例に関する正しい知識を持つことが、学校での今後の指導や生活管理を行ううえで重要であることを再認識できた講演であった。



倉島課長補佐に中央会奨励賞
予防医学全国大会開かれる

公益財団法人予防医学事業中央会及び公益財団法人鳥取県保健事業団主催の第60回予防医学事業推進全国大会が、「地域と共に健康づくり～新しい予防のスタート～」をテーマに、去る10月9日鳥取市において開催された。

大会では記念公演を鳥取大学学長の豊島良太先生が「足腰の健康と寝たきり予防～元気に歳を重ねるために～」と題して、文化公演を鳥取県体育協会 特任体育指導員 宇佐美里香先生が「空手道とわたし」と題して、特別講演を東京大学医学部付属病院 放射線科准教授・緩和ケア診療部長 中川恵一先生が「がんを知ろう!」と題して行われた。



また、記念式典では功績者の表彰が行われ、当協会の静岡事務所検査課の倉島友子課長補佐が予防医学事業中央会奨励賞を受賞した。

倉島課長補佐は平成3年に当協会に検査技師として入職以来、24年に渡り検査課等の技術畑を歩んできた。現在は先天性代謝異常症検査、細菌検査等を中心に担当し後進の育成にも手腕を發揮している。責任感も強く上司や部下の信頼も厚く、健診検査部の中堅職員としてさらなる飛躍が期待されている。

《セミナー開催のお知らせ》

第19回産業保健セミナー

演題 『あなたたちにもできる慢性腎臓病(CKD)の重症化予防』

腎臓の働きは自覚がいまま徐々に低下することが多く、現状ではいったん低下すると回復は困難です。そこで腎臓病を早期発見し、悪化を予防することが大切です。かけがえのない腎臓を守るためには病院や診療所などの医療だけでは不十分で、悪化の兆候が観られた場合に適時医療に結び付けることが欠かせません。腎臓病の知識を身に付けて重症化予防の一端を担っていただければ幸いです。

講師 静岡県立総合病院副院長兼腎臓内科部長 森 典子先生
日時 平成28年3月18日(金) 13:00~15:00(予定)
会場 静岡県男女共同参画センター「あざれあ」6階大ホール

第44回学校保健セミナー

演題 『不登校の理解と支援』

文部科学省の報告では、平成26年度の不登校の小中学生は全国で約12万人であり、静岡県は1,000人当たりの不登校児童生徒数が全国で12番目に多い。本講演では、参加された方々に、不登校の子どもたちへの支援に役立てていただけるよう、不登校という現象の捉え方や演者が実践している支援の要点について報告する。

講師 静岡県立こども病院こころの診療部長兼こころの診療センター長 山崎 透 先生
日時 平成28年2月18日(木) 14:00~16:00(予定)
会場 静岡県男女共同参画センター「あざれあ」6階大ホール

予防医学協会総合健診センター

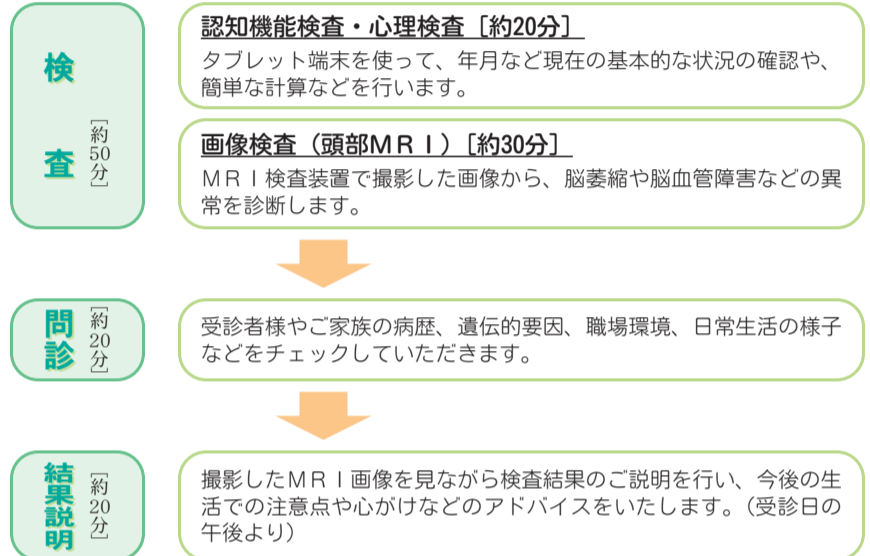
ヘルスポートだより

「ものわすれドック」のご案内

最近物忘れが多くなり、もしかして認知症かもしれないと心配になったことはありませんか。どなたでも加齢とともに知的能力が低下することで「人や物の名前が思い出せない」「何をしようとしていたのか忘れてしまう」といった症状が出てきます。これは脳の老化のひとつで自然なことです。ですが、まだ年齢が若くても認知症やその他の病気で物忘れが激しくなることがあります。その症状の原因に隠れた病気がないかを調べるのが「ものわすれドック」です。

ヘルスポートでは11月より人間ドック・脳ドックのオプション検査として、「ものわすれドック」を行っています。

「ものわすれドック」の流れ



これにより物忘れが加齢に伴う通常の物忘れなのか、それとも治療を必要とする認知症あるいはその前段階なのかを総合的に判断します。

検査後は撮影した画像を見ながら結果説明を行い、今後の生活での注意点や心がけなどのアドバイスもいたします。検査の結果でもし認知症になる可能性が見られても、必要な対処・治療により進行を遅らせることが期待できます。

ヘルスポートでは毎週木曜日、一日2名まで「ものわすれドック」を実施しています。完全予約制のため、ご希望の方は事前にご連絡ください。

(電話 0120-39-6460)

注意

体内に金属異物が入っている方や心臓ペースメーカーを埋め込みされている方は、MRI検査を受けられない場合がありますので、ご予約時に確認ください。

平成27年度 静岡産業大学インターンシップ

去る8月24日から5日間、静岡産業大学情報学部3年の鈴木美穂さんと堀木美沙さんが、在学中に様々な企業や組織で就業体験をするインターンシップのため、当協会を訪れた。

1日目、健診検査課では、腹部超音波検査や視力・聴力測定の実験、様々な検査・測定を行っている検査室の見学等を行った。2日目、健康増進課では、ビジネスマナーや広報・営業活動について説明を受け、健診資料を作成したり、健康診断の受付業務を見学したりした。3日目から最終日まで、情報管理課では、検査結果の入力・確認作業、帳票の作成等を体験した。初めて目の当たりにする健診検査の現場では、受診者から見えるところのみならず、見えないところでも実に様々な作業が行われていることに感動していた。また、受診者への説明の仕方の工夫や、『おもてなし』や『まごころ』を感じさせる対応に関心を抱いていた。また、他の作業者の負担が少しでも軽くなるようにしたり、ミスをしないうように細心の注意を払ったりすることなど、実際の作業にあたって心がけていることを職員から聞いたことで、組織の一員として働くことの重要性を感じた様子だった。

2人に感想を求めたところ、「健康診断が行われ、受診者のもとに結果が届くまでに、どのようなことが行われているか、理解を深めることができた。また、社会人としての心得を学ぶことができた」と答えてくれた。

何でも吸収しようとする2人の姿勢に、相對していた我々職員側が初心に返る気持ちになった。今後本格化していく就職活動に、今回のインターンシップが少しでも役立つならば幸いです。(文責:佐藤恵)



講師 静岡県立こども病院こころの診療部長兼こころの診療センター長 山崎 透 先生
日時 平成28年2月18日(木) 14:00~16:00(予定)
会場 静岡県男女共同参画センター「あざれあ」6階大ホール

【問合せ】 予防医学協会 (広報担当) TEL 054-636-6461 FAX 054-636-6462